

川崎医療生協

7月号



発行所 川崎医療生活協同組合 〒210-0804川崎市川崎区藤崎4-21-2 発行責任者 星野 俊平
定価 1部10円60円(購読代金は出資金に含まれています) TEL044(270)5881

川崎医療生協の現状

――〈5月末〉――
組合員 41,064人
出資金 1,533,260,000円
川崎医療生協では一世帯5万円以上の出資金をめざしています。



関川理事長

医療生協の『認知症予防作戦』

早期の予防がなにより大切

川崎医療生協、関川泰隆理事長が講演



表1

元気で100歳を迎えるための条件

- 手遅れがんにならない
- 心臓病・脳卒中の予防
- 寝たきりにならないフレイル(虚弱)・ロコモ(運動能力低下)の予防
- 口と歯の健康
- 認知症にならない

関川理事長は「みなさん100歳になると、人に迷惑をかけるんじゃないかと

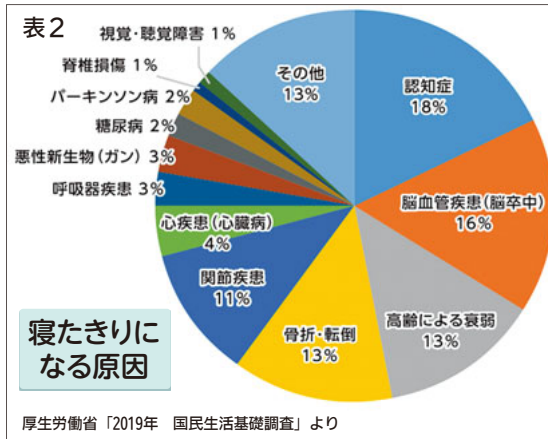
2022年の日本の平均寿命は男性が81・47歳、女性は87・57歳になりましたが、これを地区別にみると川崎市の麻生区が男女とも1位になり男性が84歳、女性が89・2歳でした。また、現在日本国内の100歳以上の人は10万人を超え、2050年頃には50万人を超える見通しです。

講演の冒頭、関川理事長が参加者へ「何歳まで生きたいですか?」と質問すると、「90歳以上」は少しで、「100歳以上」と答えた人はいませんでした。

何歳まで生きたいですか?

認知症についての理解を深めようと、5月26日、川崎医療生協本部会議室で、健康づくりセミナー「これからの認知症について」と題し、同生協の関川泰隆理事長が、超高齢社会のなかでどう認知症と向き合うかなどについて講演、そのなかで「医療生協の認知症予防作戦」を提案しました。講演はインターネットで京町診療所や久地診療所にも中継され、67人が参加しました。講演のポイントや認知症についての基本を解説します。

表2



寝たきりになる原因1位が認知症

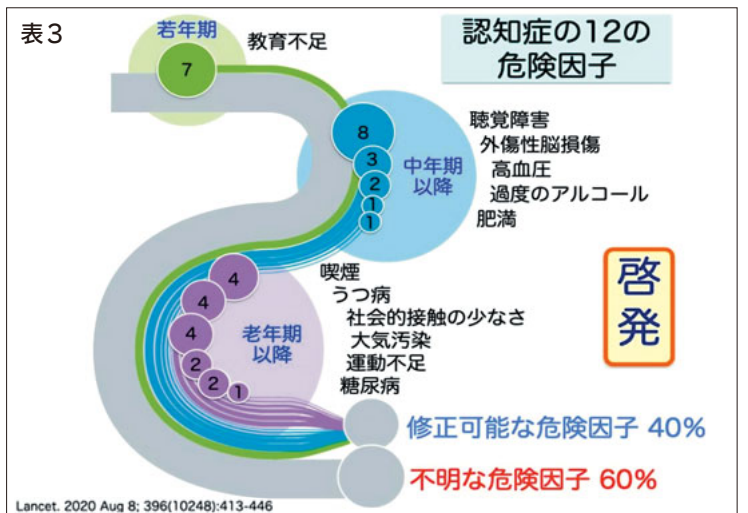
2019年厚生労働省が発表した「国民生活基礎調査」によると、寝たきりになる原因の1位が認知症(18%)、2位が脳血管疾患(16%)、3位が高齢による衰弱と、骨折や転倒(13%)によるものです(表2)。

00歳を迎えるための条件を示しました(表1)。

症状が表れます。

主な認知症の種類は5種類あります。アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、その他慢性硬膜下血腫などの認知症です。そのなかで、アルツハイマー型認知症が全体の6割を超えています。

表3



以前は原因が不明だったアルツハイマー型認知症も、最近ではアミロイドβの蓄積によって神経障害が起きていることがわかってきました。

アルツハイマー型認知症

認知症とは、何らかの病気で生きていけないのではないですか?と話し、元気で1

認知症とは、何らかの病気で生きていけないのではないですか?と話し、元気で1

認知症とは、何らかの病気で生きていけないのではないですか?と話し、元気で1

表4

医療生協の認知症予防作戦

- 物忘れなどの自覚があれば、確定診断ではなくとも、認知症の発症前段階の可能性を疑い認知症への進行予防の生活を始める
- 必要に応じて、健診や頭部MRI(またはCT)なども行い合わせて医療生協の様々な活動に参加する
- 体も頭も心も動かし、積極的な生活や社会との接点を持ち一人ぼっちにならない、させない

関川理事長は「症状が出てくる前に手をうった方がいい。ほとんどの人が症状が明らかになつてから受診するので、治療予防が厳しい。症状が出ていない時から予防してほしい。自分にしかわからない症状が出てきたときに手を打つのがいいのではないか。40代50代ぐらいから始めなければいけない」と話します。

関川理事長は「症状が出てくる前に手をうった方がいい。ほとんどの人が症状が明らかになつてから受診するので、治療予防が厳しい。症状が出ていない時から予防してほしい。自分にしかわからない症状が出てきたときに手を打つのがいいのではないか。40代50代ぐらいから始めなければいけない」と話します。

関川理事長は「症状が出てくる前に手をうった方がいい。ほとんどの人が症状が明らかになつてから受診するので、治療予防が厳しい。症状が出ていない時から予防してほしい。自分にしかわからない症状が出てきたときに手を打つのがいいのではないか。40代50代ぐらいから始めなければいけない」と話します。

編集委員 木下隆成

青い空

地方の商家のお嬢様であった父方の祖母の決め台詞は「血は水より濃し」。弟と私は、このセリフが発する滑稽さを好み、身内のことや「無理な世の中」を論ずる際に、「血は水より濃しやからな」と話を混ぜ返して遊んだりします。今や還暦前後となった私たち兄弟は、一人は未婚、一人は血のつながった子は無く妻の姓を名乗っており、祖母から父へと引き継がれた「M家」の姓も血も途絶えること必定です。

健康・医療

人生100年時代の 生き方、学び方

医療福祉生協神奈川エリア大学習会、開催 鈴木宏幸氏が講演

5月30日、横浜市戸塚区民文化センターさくらプラザで、「2023年 医療福祉生協神奈川エリア大学習会（同実行委員会主催）」が開催され、川崎医療生協をはじめ、医療生協かながわ、神奈川みなみ医療生協、北央医療生協、福祉クラブ生協の組合員182人が集まりました。

基調講演では、東京都健康長寿医療センター研究所の鈴木宏幸氏が「人生100年時代の健康づくりと地域づくり」と題して講演しました。鈴木氏は、神奈川の医療生協で毎年行っている「健康チャレンジ」の監修も行っていきます。

人生100年時代を迎える中で

人生100年時代を迎える中で、従来のような、若い頃に「学び（教育）」、「働き（労働）」、「余生（余暇）」を過ごすという、人生3ステージという考え方で

はなくなり、「学び↓働き↓活動」といったように、高齢になっても学び、社会活動する人生スタイルが、社会やその人自身の健康な生活をおくるうえでも大切な話でした。

鈴木氏は、団塊の世代が75歳以上になる2025年頃には、高齢世代が人口の3割を占め、社会活動に欠かせない世代になる一方、高齢者にアンケートを取ると、ボランティアなどの社会活動に参加しているのは51・6%で、また27・7%の人が生きがいを感じていない



講演する鈴木宏幸氏



また、囲碁の研究では、個人で学ぶよりも集団で対戦や学習をした方が、脳の視覚性記憶機能が向上、小学校低学年の子どもと高齢者が一緒に囲碁を学ぶプログラムでは、子どもが「高齢者を思いやり尊敬する態度」が向上したという研究結果を報告、集団や多世代で行うことの大切さを語りました。

基調講演の後には、各医療生協からの活動報告があり、川崎医療生協は4月の「多摩川健康ウォーク」について報告しました。

ふれ〜ん
不登校を考える親の会

一人で悩まないで

うちの子が学校に行かなくなりました！
「なんで?」「どうして?」「原因は?」親として悩み色んな情報を集めるけど、何が正しいのか分からない。周りに相談できる人もいない...そんな悩みを持つ親や、不登校に関心のある人と一緒に、月に1回集まって話し合っています。

7月9日(日)・8月13日(日)
午後1時30分から

場所 川崎市教育文化会館 第1会議室
問い合わせ ☎090-6706-5454 (しろたに) まで

ふれ〜んイメージイラスト

健康相談会のご案内

川崎すみれ薬局では、薬剤師による健康相談会を年4回開催しています。テーマは季節に合わせています。詳しくは薬局窓口でお尋ねください。

| | | |
|--|--|--|
| 川崎すみれ薬局 ☎044-287-7510 ふじさきクリニック隣 | 川崎薬局 ☎044-299-4780 川崎協同病院隣 | 大師薬局 ☎044-266-5759 大師診療所隣 |
| そよかぜ薬局 ☎044-533-1223 川崎セツメント診療所ななめ前 | 川崎コスモス薬局 ☎044-355-6395 京町診療所隣 | くじら薬局 ☎044-820-0331 久地診療所近く |

かりん (介護用品・レンタル)
☎044-287-7390

一般社団法人メディホープかながわ
横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第2米林ビル6F
☎045(624)8704

やさしい 生命科学の歴史 人間の過去・現在・未来
第31回 脳とコンピュータ

協同ふじさきクリニック 所長 桑島 政臣

脳は神経細胞（ニューロン）や支持組織（グリア）、血管などで構成され、水分を除くと65%が脂質、残りは主としてタンパク質です。さらに元素までさかのぼると、人体全体では、酸素原子65%、炭素原子18%、水素原子10%、窒素原子3・0%、カルシウム原子1・5%、リン原子1・0%、硫黄原子0・25%、カリウム原子0・20%、ナトリウム原子0・15%で構成されています。

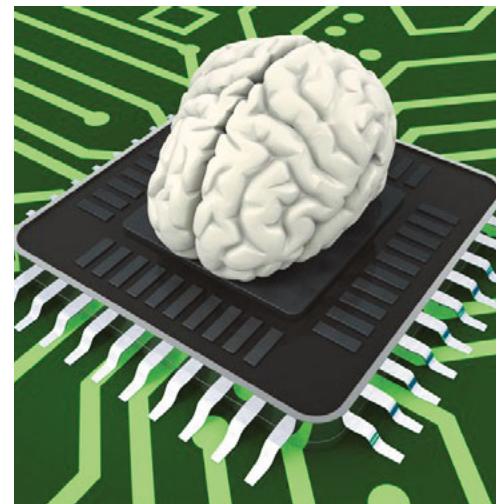
脳が必要とするエネルギーは主として血液の中のブドウ糖（血糖）であり、糖尿病のひとが血糖が下がる（低血糖）とす

ぐに意識がなくなるのはそのためなのです（低血糖性昏睡）。
活発に運動し、考えている脳内ではブドウ糖などから作られるアデノシン3リン酸（ATP）と呼ばれるエネルギーギー物質でイオンの流れによる電気信号を発生、送信し、神経細胞と隣の神経細胞の間の隙間（シナプスと呼ばれる）

に神経伝達物質と言われる化学物質を使って情報を送っています。
コンピュータ（PC）

ーが供給されます。このPCを作動させるのが、人間が作った指示書（プログラムと呼ばれる）です。最近までは一方的な指示書でしたが、PC自身が学習してプログラムを進化させる高度な技術が開発され、人工知能（AI）と呼ばれるようになりました。

人間の脳の中にはPCのプログラムに相当するものが組み込まれているのか？ それはすでに生まれたときに遺伝子にあるのか？ PCはやがて「こころ」を持つのか？ 多くの研究がなされていますが、まだ解明されていません。



くらし・社会

コラム

時の風

夏と入浜権

もうすぐ夏休み。各地で海開きが行われ、海水浴などで海辺に人々が詰めかける光景がみられることでしょう。日本の国土は海に囲まれ、多くの島々があるので海岸線の延長は約3万5000kmにも及び、国土の面積に比べると世界でも有数です。遠浅の穏やかな渚もあれば、そそり立つ断崖が織りなす絶景もあり、その表情は実に豊かで、日本人の生活・文化と切り離せない存在です。

しかし、時代を遡れば、自然の海岸線は近代に入り、ものすごい勢いで減少してきました。明治時代以降から戦争を挟み、さらに高度経済成長期を経て、軍事・産業利用、港湾整備、そしてリゾート開発などで、沿岸部は開発され、それは今も続いています。原発の建設も海沿い、空港もその多くが沿岸です。沖縄・辺野古で建設中の米軍基地ももちろん自然海岸を潰す埋立です。

経済成長、安全保障、国土保全などの「効果」と引き換えに、日本では自然な海を失くしてしま

て認識してしまいます。1960年代から70年代にかけ公害問題がわき起こったときに、瀬戸内海沿岸の兵庫県高砂市で「入浜権運動」が生まれました。あまりにも続く「入浜権運動」が生まれ、この先どこまで開発を進めるのか、開発の在り方について、このあたりで真剣に議論する必要があるそうです。

時代とともに開発が進んできた中で、若い世代になるほど、かつてのより自然に近いかたちを海辺を知りません。沿岸が埋め立てられ工場やホテルなどが建ち並んでいる光景やコンクリート護岸や消波ブロックで囲まれている海岸線の姿を、当たり前ものとして認識してしまっています。

1975年、「古来、海は万民のものであり、海浜に出て散策し、景観を楽しみ、魚を釣り、泳ぎ、あるいは汐を汲み、流木を集め、貝を掘り、のりを摘むなど生活の糧を得ることは、地域住民の保有する法以前の権利であった。……」と謳う入浜権宣言が出されました。この思想と運動は、各地に海浜を守る動きをもたらしました。

しかし、時を経るとともに埋立開発の実態は、人工海岸など申訳程度の公園建設などとともに、既成事実として徐々に受け入れられてしまいました。言い換えれば、かつての自然海岸がどのようなものだったのかを忘れてしまったのかもしれません。本来の美しさを忘れることは自然保護の観点から危険なことでは、そうならないためには、日本人が、海浜とどのような付き合い方をしてきたのか、かつての海岸はどれほど自然な姿だったのか、今振り返る必要があります。その結果、失われるものと得られるものが浮かびあがってくるのでは。

川崎市にも、埋立地にわずかながら人工海浜（かわさきの浜）があります。開発に囲まれたこの浜をこの夏一度訪れてみてはどうでしょうか。

(波)



消波ブロックで囲まれた高砂市の海岸

台風シーズン到来！防災の心得は？

事前にすべき「窓への備え」

いよいよ台風シーズンの到来です。2019年9月に千葉県を直撃した台風15号は大規模な被害をもたらした。翌10月の台風19号では、多摩川水系で甚大な水害が発生しました。強風、豪雨などに対して住まいの防災の備えはできているでしょうか。特に心配な「窓への備え」などについて考えてみます。

原因や避難・復旧の妨げになります。さらには割れた窓から吹き込んだ風雨で室内がめっちゃくちゃになったり、最悪の場合、天井や壁を突き破るなど住宅そのものの破壊につながる可能性があります。

「庭木やプロパンガスなど室内に持ち込めないものはロープなどで固定すめに、「家の外にある植木鉢やゴミ箱、サンダル、自転車などは家の中へ」

また、雑巾やタオルなども水にぬれるとガラスを割る凶器になると警鐘をならしています。

さらに重要なこととして、サッシは閉じるだけでなく鍵をかけて気密性を高め、窓からの風雨の吹き込みを避けること。網戸の固定具合や、ふだん使わない雨戸やシャッターを点検しておく。また、万一のガラス飛散に備えてカーテンを閉じることや、窓ガラスに養生テープや飛散防止フィルムを貼ることも対策のひとつです。

これらの準備は、風雨が強まってからでは危険

避けたい窓の破損

窓ガラスの破損を避けることは重要です。窓ガラスが割れると、ケガの



台風前に窓の周りを片付けておくのが重要

住宅設備メーカー各社は、最近の窓ガラスは強度を増しており、風だけではほとんどないといえます。しかし、強風で飛ばされた物の衝突で割れてしまつことはあります。そこでこれを避けるた

このほか、停電を念頭に置き、食料や懐中電灯、スマートフォンなどのモバイルバッテリーの充電等の準備。洪水や浸水リスクの高い地域では、非常用持ち出し品の準備や、家族等との避難先や連絡手段を確認しておくことも欠かせません。

川崎市は、震災対策・風水害対策を市民向けにまとめた冊子「備える。かわさき」を6月1日に更新し活

「備える。かわさき」の活用を

気象庁気象研究所が1980年から2019年の観測データを解析したところによると、東京など太平洋側地域に接近する台風は増加し（東京では前半20年に比べ後半20年の接近数は1.5倍）、その強度は強まることにも、移動速度は遅くなっていると発表しています。

防災意識もさらに高める必要があるようです。

からだにやさしい料理 第52回

発酵食品を食べよう!④

★甘酒でふっくら 生姜焼き★

川崎協同病院 管理栄養士 渡辺 里奈

【材料】(1人分)

- 豚肉生姜焼き用 80g
- *薄切り肉でも可
- 麴でできた甘酒 小さじ2
- しょうゆ 小さじ2
- しょうがすりおろし 小さじ1
- サラダ油 適量

1人分 200kcal タンパク質17.6g 塩分1.83g

【作り方】

- しょうがをすりおろす(チューブでも可)
- ポウルに豚肉をいれ、醤油・甘酒・しょうがを入れてもみこみ、1時間ほど放置する
- フライパンに油をひき、②の肉を焼いて完成

♥一口メモ：甘酒に含まれる酵素の力で肉が柔らかく、砂糖を使わずやさしい味わいに仕上がります。豚肉は薄切り肉の場合②で10分程度漬けます。



組合員の広場

話して動いてみんな元気

友だちに誘われて医療生協の班会に参加するようになった。一年になり、昔はおよそ劇場の班会などもしていましたが、子育てが一段落(?)とつくと、今度は親の介護があつたりで、仕事を続けてきている私たちはまだ元気でないかもしれません。友だちと旅行に行ったり、孫と遊んだり、趣味を楽しんだり、やりたいことは沢山あります。そのためにはまず健康でいなくてはなりません。

私たちが梨の花班は日曜日に、今度は親の介護があつたりで、仕事を続けてきている私たちはまだ元気でないかもしれません。友だちと旅行に行ったり、孫と遊んだり、趣味を楽しんだり、やりたいことは沢山あります。そのためにはまず健康でいなくてはなりません。



ウォーキングはこころ癒される時間

ようと、今度はおおむね一年になり、昔はおよそ劇場の班会などもしていましたが、子育てが一段落(?)とつくと、今度は親の介護があつたりで、仕事を続けてきている私たちはまだ元気でないかもしれません。友だちと旅行に行ったり、孫と遊んだり、趣味を楽しんだり、やりたいことは沢山あります。そのためにはまず健康でいなくてはなりません。

長尾堰支部 梨の花班 榎林 敦子

浜町・鋼管通りを調査

梅雨空の合間を縫って、6月14日、浜町支部は「1班1支部1職場1要求」運動の一環として、川崎区の浜町・鋼管通りを担当区域を調査しまし



木が電線にかかって危険

た。支部運営委員5人が参加しました。今回の調査の中で「浜町四丁目の桜の木が電線に架かって危険だ」「豪雨の時に、家が浸水してしまう」などの地元の人からの訴えもあり、4カ所の修繕要求を把握できました。現地調査終了後は、喫茶店で総括集会を行いました。

浜町支部 中山 幸男

支部のポスター作り

川崎医療生協の協同地区8支部では、各支部の年度目標などを記載したポスターを6、7月に作成し、組合員ルームの壁に掲示するのが恒例行事となっています。



みんなでアイデア出し合っ

藤崎北支部では、その恒例のポスター作りを6月14日に運営委員4人で行いました。

運営委員会で何をメインにするかを話し合っていたこともあり、当日は支部長が貼り付ける部品や写真を完璧に準備をしていてくれたので、後はそのなか

から選択し、どう配置していくかの作業のみでした。チームワークも抜群で、切ったり貼ったりの作業も楽しく、短時間でどんどん進み、完成！

ペーパークラフトやお花見会での写真なども使い、きれいにまとまりました。

藤崎北支部 平田 淳子

第1回上平間ふれあいマルシェ開催

5月21日、中原区上平間にある「なかはら看護小規模多機能ホーム」で、川崎医療生協組合員と近隣の医療・介護事業所の共催で、「上平間ふれあいマルシェ」を開催しました。



初めての開催でした

医療生協組合員による、握力、足趾力チェックや手作りけん玉体験では、子どもからお年寄りまで多世代の交流が生まれました。参加したほかの事業所もサツマイモの壺焼き、自家焙煎珈琲販売や地元青果店や、パン屋さんの協力を得た販

売を行い、100人以上の来場者がありました。今後も、主催者はこの地区で安心して暮らしていける街づくりの一環として活動を続けていく方針です。

楽しく描いて若返り

「小中学校時代、絵を描くのが好きだったが、その後機会がなく、今ようやく...」



油彩画「川釣り」大蔵 健

「一人だと描く気が起らない」「みんなと一緒に描くのがいい」と、描くのが楽しくなってきた。毎月1回集まっています。水彩・油彩、洋画・日本画、風景・静物・抽象...と、ジャンルは何でもOK。自由に描こうという集まりで、活動の場は麻生診療所の組合員ルームです。

支部運営委員2人誕生

橘支部では、昨年からの新しい運営委員を何とか迎えるようと支部長を中心に努力してきました。そして、4月開催の支部総会で2人の新しい運営委員を迎えることができました。

一人は支部のハイキング企画に参加されて大いに楽しんでるSさんと、班活動にも参加し積極的に医療生協を楽しんでいる人です。もう一人は、医療生協のニュース配付に昨年からの参加している定年後のKさんです。支部長の一声とみんなの応援で運営委員として参加してもらいました。

橘支部 柴田 昇

紫陽花寺に行ってきました

梅雨の合間をぬって定例行事紫陽花見学を行った。

不調の人が多く、参加者は4人でした。いつもは久地診療所から紫陽花寺まで歩くのですが、「紫陽花号」という多摩丘陵を走行している乗り合いバスを使いました。

白、紫、赤など色合いの鮮やかな紫陽花が咲き誇っていました。9月の例会は小松厚志トレーナーを講師に研修会を予定しています。問い合わせは、久地診療所(電話044-811-7771)まで。

京町支部 手芸班 松本 寿美江

4年前と同じ、三浦半島への旅

京町支部の手芸班では4年前、三浦半島に行き、2度目も考えていた矢先「コロナ禍」に。身近な友達をコロナで亡くし、だんだんと暗くなる世の中、頑張つてなんとかコロナ禍を乗り越えようと思ふはつてきました。コロナ禍も落ち着きを見せてきた、4月21日、三浦半島へ、4年前と同じコースで出発しました。

麻生南支部 絵描き班 若槻 武行

組合員の広場

認知症サポーター養成講座を開催

6月9日、サービスタビ高年齢者住宅「レインボーの家川崎大師」で、大師診療所主催の認知症サポーター養成講座を開催しました。大師の里地域包括支援センターの職員が講師をつとめ、10人が参加しました。

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、自分のできる範囲で認知症本人や

その家族、友人などを支援したり、見守ったりする人を増やすのが目的です。

今回の講座では、認知症という疾患についての基礎知識や、認知症本人が日々どういった気持ちで暮らしているのかなどを40分程度で解説しました。講義のあと、大師診療所デイケアの職員3人が、認知症のおばあちゃん、その祖母と一緒に



寸劇で事例を紹介

暮らしを母娘に扮して、認知症の人の心を傷つけないように対応するための一例を紹介しました。

認知症サポーター養成講座に参加した人には、参加証明書と有志が作成した手作りのマスクが配布されました。

大師カフェは毎月第2金曜日の午後2時から、レインボーの家川崎大師の4階で開催しています。次回7月14日は、大師薬局の加藤佐知子薬局長が「くすりの話」を講演する予定です。

健康まちづくり推進部 平野賢治

多摩支部からのお願い

組合員が1800人いる多摩支部では支部運営委員、ニュース配付者を募っています。

現在、理事、運営委員、配付者175人で、毎月1回、新聞「川崎医療生協」を配付しています。山坂のある広い地域で、

面々公演として行われ、この6月末で4720回を数え、「NIPPON 1, NET」でも日本一と認定された。2005年には腹話術の会「きずな」を結成、現在会員は関東一円で90人にのぼる。

多摩支部運営委員会

シクワ 川崎に生きる 城谷護さん(82)・①

楽しく闘い、演劇、腹話術でも活躍

川崎医療生協の組合員や関係する人のなかで、長年、川崎で暮らし、奮闘してきた人とその歴史を振り返るシリーズ「川崎に生きる」。第1回は、川崎市幸区にある京浜協同劇団の前代表で、腹話術を始めて37年になる城谷護さんです。

長崎県の島原半島、雲仙市出身の城谷護さんは、長崎工業高校を卒業後、日本鋼管に就職。仕事の一方、労働運動に関わり、また劇団活動や腹話術にも力を入れた。小さい頃腹話術を見て興味をもった城谷さんは「腹話術は問答形式でできるの



で難しい裁判のこともかかりやすく話せた」と言う。労働争議も「楽しく闘おう」を貫き、職場の中に「希望の会」を作り、職場の声を取り上げ、昼休みに行われていた防災訓練を業務時間に行うようにしたり、女性は昇格させないという差別も撤回させた。また、「組合員活動家差別争議」で勝利の後、会社の門前に樽酒を置き、仕事帰りの職員4000人に「みなさ

城谷護 (しほたにまもる)

1940年長崎県南高来郡小浜町(現・雲仙市小浜町)で生まれる。59年日本鋼管(株)に入社。川崎協同劇団(現・京浜協同劇団)に入団。2001年東京演芸協会に入会、プロデビュー。2009年雲仙ふるさと大使任命。川崎市文化賞(2014年)、日本舞台芸術家組合賞(2022年)など受賞多数。

んおかげで勝利することができました」と声をかけ、勝利の振る舞い酒やチョコレート配り話題となった。

また、会社から経営難のため早期退職を迫られたときは「会社がそんな大変な時に、私一人が退職金をもらってやめるわけにはいきません。会社を立て直すまで頑張りま

す」と跳ね返した。同期入社は約30人いたが、定年までいたのは城谷さんだけだった。

争議の中で始めた腹話術はその後さまざまな場

市民とともに演劇を

城谷さんが現在議長を務める「川崎文化会議」には、人形劇団ひとみ座や、川崎市民劇場、合唱団いちばん星などの団体や写真家、音楽評論家などが参加。1971年には伊藤三郎革新市政を誕生させるのに貢献した。

京浜協同劇団は今までに本公演96本、川崎市と共催のかわさき演劇まつりや川崎郷土・市民劇など約80本上演。代表作の「麦の穂のように」(はだしのゲン)では800

0人の観客を集めた。1994年から全国の地域劇団の集まりである「全本リアリズム演劇会議」の事務局長も務めている。

革新市政の中で生まれた「かわさき演劇まつり」は、50年間も続く全国でも珍しいイベントだが、京浜協同劇団はその中心となって取り組んできた。7月29日から30日に多摩市民館で公演する「モモ」は40回記念の公演で、観客目標2500人を目指している。

これまで歩んできた道を、城谷さんはこう振り返る。「僕の人生で貫いているのは『笑い、優しさ、勇気』。笑いながら楽しく活動し、人には優しく、間違っていると認めたことは勇気をもって発言することを大切にしています」。

班会日誌

5月度 31支部 123班 815人

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------------|--------------|---|-------------|-----------------|----|-------|------------------|------------------|----|-----------|----------------|----|
| 南大師 | ウォーキング | ウォーキング&ストレッチ | 7 | 手芸 | PPテープでの手さげカゴ | 15 | 手芸 | 雀(すずめ)の学校 | テマ...? | 6 | ウォーキング | 平和行進に参加 | 3 |
| グルメ | おしゃべり | おしゃべり | 5 | 桜本 | 糖尿病の合併症について | 3 | さくら | 外へ出て身体を動かす | 外へ出て身体を動かす | 7 | おたまじゃくし | 唱歌童謡を唄う | 5 |
| 茶の実 | 作品づくりと血圧チェック | 作品づくりと血圧チェック | 3 | さくら | インターバルウォーキング | 4 | あじさい | 川崎駅前 | 茶話会 | 3 | バードウォッチング | 鳥と自然観察 | 4 |
| 露草の会 | 各自のテーマで描く | 各自のテーマで描く | 6 | 大島 | ゴキブリ団子作り | 10 | あゆみ | 茶話会 | 母の日にちなんだ思い出の物を描く | 7 | 困暮サロン | 困暮 | 3 |
| 大師中央 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | あかり | ゴキブリ団子作り | 10 | キャロット | 母の日にちなんだ思い出の物を描く | 母の日にちなんだ思い出の物を描く | 7 | 公園体操 | 高津公園体操 | 10 |
| エンゼル① | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | あじさい | ゴキブリ団子作り | 10 | なわて | ニュース仕分 | ニュース仕分 | 5 | 水彩画 | 春の花を描く | 4 |
| カミツ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ロード | 輪おどり | 8 | なわて | マイナ保険証の問題点 | マイナ保険証の問題点 | 6 | 橋 | 脳トレ・ぬりえ | 8 |
| マーガレット | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 深瀬 | 中央ろうきんの日帰りバスツアー | 3 | なわて | ゴキブリ団子づくり | ゴキブリ団子づくり | 3 | アカシヤ | 敬老会食 | 20 |
| わろてんか | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 末摘花 | ストレッチ・ダンベル体操 | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | シクラメン | 健康麻雀 | 10 |
| 建設一般 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 浜町 | ストレッチ・ダンベル体操 | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | すずめ | 介護認定手続きについて | 5 |
| 東門前 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | エチュード | おはなし会 青丘社 | 14 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | ダンベル | 脳トレ体操 | 9 |
| 年金大師 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | プアカーネーション | フラダンス | 7 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 11 | プラザ | 健康づくりセミナーDVD | 4 |
| 民商 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ブルメリア | フラダンス | 4 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 8 | 梶ヶ谷 | 癒しのお手玉 | 10 |
| 大師フレンド | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 渡田 | ちよこつとウォーク | 9 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | たかつ | 癒しのお手玉 | 10 |
| ウォーキング | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 歩いて楽しむ会 | ちよこつとウォーク | 9 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | クイン | 生田緑地バラ苑散歩 | 6 |
| おしゃべり | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 小田 | 元気で顔合わせ | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | 宮前 | 体操 | 3 |
| おりづる | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | いなほ | 元気度顔合わせ | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 8 | ジャズミン | 体操 | 3 |
| お絵かき | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ころぼくる | 神奈川エリア大学習会参加 | 4 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | すみれ | 玉川大師散策 | 3 |
| ちぎりえ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | たんぼぼ | 尿が泡立つ | 4 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 10 | ひまわり | 塩分チェック | 4 |
| ひまつぶし | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ちよこつとウォーク | くもり空 | 22 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | 長尾住宅 | 健康づくりセミナーDVD | 8 |
| リトルハンズ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 夏つばき | 団子づくり(ホウ酸) | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | 南平 | 体組成チェック | 5 |
| リフレッシュ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 桜 | 映画鑑賞「浜のドン」 | 4 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 9 | 白幡台 | ラジオ体操、脳トレ | 4 |
| リメイク | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 東小田 | 増資・血圧チェック | 7 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 10 | 野川南台 | ゴキブリ団子作り | 5 |
| 歴史班 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | さつき | ペットボトル体操 | 8 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | 長尾壇 | 体組成チェックとモルック | 4 |
| 藤崎北 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 小田7丁目公園 | ペットボトル体操 | 8 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 7 | アジサイ | 健康・脳トレーニング | 7 |
| 健康麻雀 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 浅田 | ごきぶり団子作り | 6 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | すずめ | 転倒防止体操 | 8 |
| 向日葵 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | あじさい | 折り紙にてランドセルを折る | 7 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | ひまわり | マージャンを楽しむ | 4 |
| 樺 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | けやき | 小田公園チョコッとウォーク | 12 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | ラフランス | 膝腰肩の体操 | 7 |
| 藤崎南 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | チューリップ | ゴキブリ団子作り | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | 第4長尾 | 平和行進 | 4 |
| ライオンズ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | はばおとじいじの手習い | 字形の整え方(練習記録感想) | 4 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | 茶の実 | 平和行進 | 4 |
| 観音 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ひまわり | 折り紙 ランドセル | 6 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | 歩歩路 | アートアクアリウムにお出かけ | 4 |
| あるこうかい | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 京町 | ゴキブリ団子作り | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | 宿河原 | すこやかダンベル | 4 |
| プラチナ | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | なかよし | ゴキブリ団子作り | 3 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 6 | すこやかダンベル | 筋力維持と親睦 | 4 |
| 観音健康ボウリング | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | ロード | 久しぶりの晴 | 15 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 12 | パークゴルフ | パークゴルフ | 7 |
| 健康マージャン | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | 古流生花 | いけ花 | 10 | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 5 | 健康マージャン | 健康麻雀を楽しんで認知症予防 | 4 |
| 池上新町 | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | | | | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 4 | せんごく | ロコモ体操&群読 | 7 |
| 踊り | ちぎり絵 | ちぎり絵 | 3 | | | | なわて | ストレッチ・ダンベル体操 | ストレッチ・ダンベル体操 | 8 | 麻生南 | 黒川の五月 | 9 |

「みんなが楽しい班会」3人以上集まれば、班がつくれます。近くの町内会事務所や組合員のお宅、病院・診療所の組合員ルームなどを利用して、楽しい班会をひらきましょう。

読者の広場

川崎ぶらり文学日記

第98回
都築ヶ岡の文芸者編
「劇団民藝」

源流は築地小劇場

都築ヶ岡の文芸者編の後半として、今回は麻生区黒川に拠点がある劇団民藝にスポットをあててみます。劇団民藝の源流は、遡れば1924（大正13）年に小山内薫、土方与志によって創設された「築地小劇場」になります。ここで育てられた演劇関係者が後に数々の劇団を起こすことになるのですが、戦時中は戦争に反対し、平和を求めたため繰り返し弾圧された歴史がありました。戦後1947（昭和30）年に



22年に劇団民藝の前身である「民衆芸術劇場」が宇野重吉、滝沢修（ともに俳優・演出家）を中心に結成され、島崎藤村『破戒』を旗揚げ公演し劇団の歴史がスタートしました。その後3年後には「劇団民芸」を結成、旗揚げ公演はアントン・チェーホフ（ロシアの小説家）の『かもめ』で、その後も劇団内に映画部をつくりテレビや映画会社との提携や演技指導をおこない、表現活動の枠を広げました。



劇団民藝の稽古場

川崎との縁

劇団民藝は1982（昭和57）年7月に青山（東京都）から麻生区黒川へ拠点を移します。も

には民芸の「芸」を「藝」に改め、現在では約150人の劇団員で構成され、年間5作品程度の公演をおこなっています。過去には大滝秀治や中尾彬、米倉斉加年なども所属し、今年3月に亡くなった奈良岡朋子が劇団代

ともと黒川には民芸の倉庫があったという縁があったようです。1983年川崎移転の挨拶公演として岸田國士（小説家・劇作家）の『驟雨』を多摩市民館で上演。その後も高津市民館で『これらがめ』（宇野重吉 台本・演出）、翌年には幸市民館で市内各地の「反核区民の会連絡会」と「川崎ボランティアセンター連絡会」の共催で久保菜（小説家・劇作家）の『林檎園日記』を上演します。

芸術を根付かせること

1985年には麻生市民館開館記念公演としてアーサーミラー（アメリカの劇作家・エッセイスト）の『セールスマンの死』を上演。また先述した劇団民藝の創設者の一人である宇野重吉は地域に協力的で、麻生文化セ

ンター完成した際、建設記念誌に原稿を寄せたそうです。劇団民藝の特色として「稽古場公演」があり、稽古場に仮設の舞台と客席を設けて、間近で観劇できることが特徴です。2022年は劇団民藝が麻生区黒川へ移転して40年と節目の年で、島崎藤村『破戒』を74年ぶりに稽古場公演としておこなわれました。民藝のこうした活動は地域の文化的環境の向上へとつながっています。

前、久地診療所の屋上でモルック競技を楽しんでいます。現在宿原の組合員（私も含めて）3人と健康まちづくり推進部の城谷さんが参加しています。モルック班を作ろうと思っ



間とともに5月7日〜9日までの3日間、川崎、幸、中原、高津、宮前、多摩、麻生を歩きました。大師公園〜麻生区役所で手むかえてくれた街の人たちに感謝でした。核兵器禁止条約は現在68カ国が批准しています。唯一の被爆国、日本政府は署名も批准もしていないことに怒り心頭です。サポートカーを出してくださった医療生協のみなさん、ありがとうございました。



読者の声

健康チャレンジの景品

駅前支部 鈴木 由利子
昨年度で終了した「川崎市健康チャレンジ」は、今年度から「かわさきTEKTEK」に変わりました。10月頃スタート予定で、スマートフォンアプリ「かわさきTEKTEK」をインストールして、スマートフォンを持



私が過去5年間「川崎市健康チャレンジ」で当選した景品は、タニタのハカリ、時計（温度、湿度も付いている）、けん玉（孫のため）のほか、昨年は主人と2人で挑戦

「戦争体験」を熟読

幸区 佐竹 孝夫 80
私の戦争体験「伝えたかったこと」を熟読しております。小生、終戦時は3歳に満たず何もおぼえておりません。先人の方の体験を本当に大事にしたいと思

班をつくらう！

宿河原支部 井手 敏明
毎月第2土曜日の午

今年も平和行進

中原区 関山 正次 76
2023年国民平和行進が東京から神奈川に入ってきました。私も仲

こんな川崎、これも川崎

シリーズ 第45回

川崎市立 日本民家園（多摩区）

東西に約31km、南北に約19km。東京と横浜に挟まれた東西に細長い川崎市は、内陸の北側と海側の南では街の風景もかなり違います。そんな川崎のしらべろる見どころのなかで、今回は、急速に消滅しつつある古民家を将来に残すことを目的に、昭和42年、多摩区研形に開園した日本民家園を紹介します。

健康まちづくり推進部 城谷 創一

25件の建物が園内に

園内には、明治44年に中原区小杉陣屋町に建てられていた原家の住宅や、17世紀ごろに建てられた住宅など、各地から集められた古民家や、水車小屋・船頭小屋・高倉・農村歌舞伎舞台など25の建物を見ることが出来ます。

昔の知恵と工夫が

正門のとなりには本館展示室があり、常設展示室に



中原区にあった旧原家住宅

囲炉裏に火が

展示室を出て坂を登っていくと、各地から集められた古民家が野外展示しているスペースになります。建物の中に入ると、田舎に帰ったような、焚火の懐かしさにおおがします。この園では、ボランティア団体「炉端の会」の人たちが、毎日のように建物を回って囲炉裏やかまどに火を入れていきます。火をたくことによ



草の葉のバッタ

この園では2000人近いボランティアが当番で囲炉裏に火を入れ、来場者のガイド、園内の整備を行っています。訪問した時にはボランティアの人から、草でつくったバッタをいただきました。

民家園へは

日本民家園へは、小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口から、川崎市バス、溝19系統おし沼経由「溝口駅南口」行きに乗り、「生田緑地入口」で下車、徒歩3分です。

読者の広場

私もがんばろう

川崎区 大沼真早美(46)
「多摩川健康ウォーキング大会」に参加しました。前の職場でお世話になった組合員さんにも会えてとても嬉しいひとときでした。みなさん変わらずお元気で私も頑張ろうと元気ができました。

プロレスラーが講師

高津区 吉田美砂子(71)
現役プロレスラーが講師の健康教室(全6回)に参加しました。先生は「筋力維持」ではなく「筋力増強」をおっしゃいます。それには「運動」「栄養」「休養」「継続」が大事と、週に2回でいい、回数は問わないので自身が「限界」と思える運動をしてください、とのことでした。

薬をゴミ箱に

幸区 根津美枝子
6錠の薬を毎朝服用しているのですが、ある時手に乗せた6粒を口ではなくゴミ箱へ。テーブル

ワクワク感



クロスワードパズルの余白に書かれた「内容」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください

みんなが川柳

身のまわり一人て出来れば子孝行我が家にも友の家にも未婚の子閨バイト呼び名が軽く重犯罪ギョツとするコップが笑う義母の義歯ジジババが手を出し金出し孫育て川柳はAIまかせにせぬ覚悟あの頃は家族の祝日給料日今日もまた「明日こそは」で日が暮れる古稀過ぎて冠なし婚なし祭もなしコロナ明け口紅買ってもまだマスク

ひよつとして、AIで川柳つくっている人が、もういるかもしれないね。



みなさんからのオリジナル川柳をおまちしています

ひよつとして、AIで川柳つくっている人が、もういるかもしれないね。

- 川崎区 遊佐ミチ子(94)
- 麻生区 脇治以(83)
- 高津区 小池三男(77)
- 幸区 伊藤豊子(75)
- 中原区 菊地結貴子
- 宮前区 佐藤實(86)
- 多摩区 菅野節子(92)
- 川崎区 牧岡英夫(70)
- 川崎区 鎌田克子(73)
- 川崎区 鈴木えむ(19)

の上にはカラが... 誰よりもびつくりしたのは私でした。

夏に悪循環

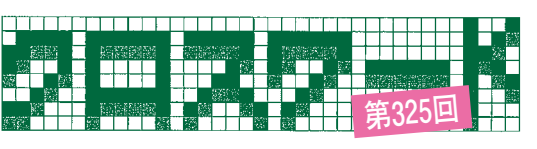
川崎区 匿名希望(41)
大型連休も終わり、ようやくわが家は日常が平常運転になりました。沖縄はすでに梅雨入り。先日の暑さは異常事態！今年の夏も長く感じられそうです。昔は夏が来るのが待ち遠しかったのに、年々歳をとり、年々暑く

社会参加とよい運動

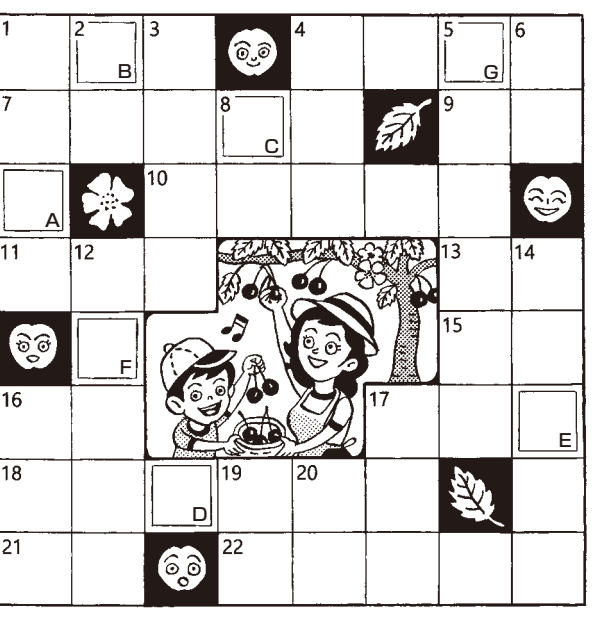
麻生区 天野伸子(68)
4月から「川崎医療生協」新聞の配付を少しですが手伝っています。社会参加とよい運動と実感が

ベトナムの旅

宮前区 玉木雅子(73)
先日、膝をけがしてしまいました。湿布と包帯を巻いて、海外旅行に行ってきました。ベトナムへの7日間の旅です。



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの7文字をうまく並べてできる言葉は？



メールでの送付先 machizukuri@kawaiyo.or.jp

目ごのカギ

- ① 明智小五郎は〇〇〇の人物
- ② オリンピックの五輪マークは五つの〇〇〇〇〇の結合を表現
- ③ 紫外線から目を守ります
- ④ ギニョールとは〇〇人
- ⑤ 形劇
- ⑥ 職場の理解を進めて男性の〇〇〇〇〇〇取得促進へ
- ⑦ 「世界一」を集めた書籍「〇〇〇〇世界記録」
- ⑧ 〇〇策、〇〇民、遅〇〇
- ⑨ つらい気分。〇〇を晴らす
- ⑩ 出過ぎると打たれます
- ⑪ 「陸稲」と書きます
- ⑫ 日本三大名瀑の一つで日光にあるのは
- ⑬ 2人は赤い〇〇〇〇〇〇
- ⑭ 2人は赤い〇〇〇〇〇〇
- ⑮ 新聞や本を印刷で結ばれて
- ⑯ 七夕といえは、この鳥
- ⑰ 忍者の取り決めごと。忍者の〇〇〇〇
- ⑱ 生産量が多いのは有明海や瀬戸内海布類の長さの単位
- ⑳ 付先のアドレスは解答枠の下をご覧ください。医療生協新聞への感想や近況を余白に記入していただければ幸いです。なお、川柳はひとり、一句、既に発表済みのものは遠慮下さい。正解者の中から抽選で20人に図書カードをお贈りします(連続10回当選しなかった方にも贈呈します)。締切りは7月25日、発表は9月号紙面に掲載します。

解答と当選者

| | | | | | | |
|---|---|----|---|----|----|---|
| コ | シ | ヨ | ウ | ゲ | ツ | ト |
| ゴ | ジ | ド | ク | キ | ノ | コ |
| カ | タ | コ | ウ | ジ | ライ | ン |
| シ | ナ | ライ | フ | ライ | ン | ザ |

答え「シャカイジン」

応募要項

パズルの答と川柳は、ハガキで左記までお送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号とよろしければ年齢を記入して下さい。メールでの応募もお待ちしています。送

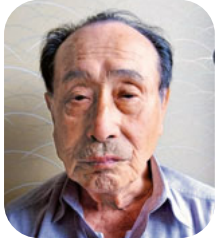
原口明枝 (多摩区)
大崎弘子 (多摩区)
和田智子 (麻生区)
天野伸子 (麻生区)
敬称略

高嶋明代 (川崎区)
草野義雄 (川崎区)
馬場昌子 (川崎区)
山崎香代子 (幸区)
椎名多美男 (中原区)
千葉和子 (高津区)
吉田美砂子 (高津区)
高山富恵 (宮前区)
稲嶺やす子 (多摩区)

立元三恵子 (川崎区)
柏木友子 (川崎区)
岩本千賀子 (川崎区)
井上みえこ (川崎区)
塚田さと子 (川崎区)
島村玲子 (川崎区)
出口夏織 (川崎区)

〒210-0804
川崎区藤崎4-21-2
川崎医療生協本部
編集委員会

私の戦争体験 105



伝えたい思い

幸区 道脇 昭司 (88歳)



北朝鮮～満州～北朝鮮そして日本へ(上)

私は福岡県の幸袋という片田舎の町で1935年に生まれました。父は、福岡市にあった職業訓練専門学校を卒業し、日本窒素に入社。鍛冶職人として働いていました。母は専業主婦でした。

私が5歳の時に、父が北朝鮮の興南工場に転勤になり、父・母・祖母、そして兄妹4人、あわせて7人の家族は初めて海外に渡る事になりました。幼いながらもどんな所か不安のなかで1年ほどいましたが、日本とあまり変わるところのない生活でした。やがて弟が生まれて一家は8人家族になりました。

1941年3月、父が中国の吉林省工場に転勤になり、4月には国民学校の1年生に入学しました。クラ



1927年に設立された世界最大規模の化学コンビナート興南工場(「日本窒素肥料事業大観」より)

私は30人ほどでした。社宅は2階建てで台所は電熱器で調理し、水洗トイレが設置されており、配給も充分あり食べ物には不自由を感じませんでした。

満州はとにかく寒かったです。今みたいにダウンの入った防寒着などなく、綿入れを重ね着しても寒く、まるで冷凍室にでも入っているようでした。河川は凍りつきその川の上をバスが走っていました。水洗トイレは毎朝凍ってしまい、母が湯を沸かし氷を溶かしてから用をたしていました。

1941年12月8日、朝のラジオ放送で「大本営発表、日本は戦争状態に入れた」とまくしたてるような声がかえってきました。後で思うと日本が真珠湾攻撃をはじめた日だったようです。戦争状態といっても私たちはメンコやビー玉、たがまわし等で遊び、普通の生活をしていました。そして妹が生まれ、満州で生まれたので寿満子と命名された9人家族となり、間もなく祖母が他界しました。

3年生になって父が北朝鮮の興南工場に再度転勤になりました。社宅は二階建てで家庭菜園が出来るほどの小さな庭があり、母は葉物野菜やトウモロコシ等をつくっていました。会社には朝鮮人労働者が雇われており、朝鮮人の社宅は2間程の狭い社宅でした。ただ配給が少なくなり、アワ・ヒエ・大豆カスなどが主体になり米はあまり食べられなくなりました。

この頃興南市はロシア軍が完全に支配し、ロシア兵が日本人街の家々を物色し腕時計やネックレス等の貴重品、目覚まし時計まで強奪し、ある者は時計を2個も3個も身に付けていました。女の人々は皆、坊主頭にして男性を装い、ロシア兵が来ると押し入れなどに身を潜めました。(つづく)

敗戦で追い立てられ

B-29がたまに飛来するくらいで空襲警報など一度も発令されませんでした。その頃元気だった母が突然脳溢血で倒れ、帰らぬ人になってしまいました。現地の工業高校の先生が不足し、父は代替教員としてお

われ、なかでも「学童はいくオカリナ」の子どもたちのパフォーマンスには、ひととき大きな歓声があがりました。また最後に「軍事力でなく対話による平和を求める」とするアピールを、参加者の総意で採択しました。

舞台の司会を務めた小野朋美さん(原水爆禁止中原区協議会)は、子育てするようになり平和の大切さを思うようになったと言います。

「考えるきっかけにと、子どもたちを県内の生協が主催する『ヒロシマ子ども平和スタディツアー』へ参

軍事力でなく 対話による平和を呼びかけ

平和をきづく市民のつどい開催



県立川崎高校吹奏楽部OBによる「KMCプラスバンド」の演奏

第41回平和をきづく市民のつどいが、6月4日、川崎市中原区の川崎市平和館と隣接する中原平和公園で行われ、大勢の市民が参加しました。「つどい」は、核兵器廃絶と軍縮を求める市民運動が高まるなか川崎市が1982年に行った「核兵器廃絶平和都市宣言」を記念し、毎年開かれてきました。

実行委員会の対馬芳さんは開会にあたり、「文化行事や記念講演、参加団体が工夫を凝らした展示を通じて、平和のために何をすべきか、ひとつでもふたつでも『気づき』が生まれると

ありがたい」と、参加者に語りかけました。

公園会場では、餅つきや模擬店、川崎医療生協のフリーマーケット(溝ノ口支



子どもも興味津々のモルック

部、橋支部)や、健康チェック・モルック体験(小杉支部)が催され、親子連れなどでにぎわいました。

一方平和館では記念講演のほか、平和や命をテーマに紙芝居や腹話術などが行

われ、なかでも「学童はいくオカリナ」の子どもたちのパフォーマンスには、ひととき大きな歓声があがりました。また最後に「軍事力でなく対話による平和を求める」とするアピールを、参加者の総意で採択しました。

舞台の司会を務めた小野朋美さん(原水爆禁止中原区協議会)は、子育てするようになり平和の大切さを思うようになったと言います。

「考えるきっかけにと、子どもたちを県内の生協が主催する『ヒロシマ子ども平和スタディツアー』へ参

われ、なかでも「学童はいくオカリナ」の子どもたちのパフォーマンスには、ひととき大きな歓声があがりました。また最後に「軍事力でなく対話による平和を求める」とするアピールを、参加者の総意で採択しました。

舞台の司会を務めた小野朋美さん(原水爆禁止中原区協議会)は、子育てするようになり平和の大切さを思うようになったと言います。

「考えるきっかけにと、子どもたちを県内の生協が主催する『ヒロシマ子ども平和スタディツアー』へ参

健康に暮らせる社会をめざして 「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」

環境とまちづくりを考える「第28回公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」(同実行委員会主催)が、5月21日、溝の口駅ペダストリアンデッキで行われました。

このフェスタは、高度経済成長期に悲惨な健康被害を生んだ大気汚染に対し「きれいな空気と生きる権利」を求めた川崎市民の公害闘争を起源とし、環境やまちづくりに関する時々の課題についての情報の発信と、市民の交流の機会として開催されてきたもので、実行委員会には、川崎医療生活協同組合など約60団体が参加しています。

今年、最大の環境破壊である戦争と、川崎市のぜん息患者医療費助成制度の廃止問題を柱に行われ、参加団体による舞台でのアピールや展示に

「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」(同実行委員会主催)が、5月21日、溝の口駅ペダストリアンデッキで行われました。

このフェスタは、高度経済成長期に悲惨な健康被害を生んだ大気汚染に対し「きれいな空気と生きる権利」を求めた川崎市民の公害闘争を起源とし、環境やまちづくりに関する時々の課題についての情報の発信と、市民の交流の機会として開催されてきたもので、実行委員会には、川崎医療生活協同組合など約60団体が参加しています。

今年、最大の環境破壊である戦争と、川崎市のぜん息患者医療費助成制度の廃止問題を柱に行われ、参加団体による舞台でのアピールや展示に



小中学生の環境絵画作品に見入る人

「戦争ではなく平和の準備を」と題した記念講演には憲法学者の青井未帆さん(学習院大学大学院教授)

「生活レベルで国民を守る自治体に対し、何が起るのか秘密にされるなかで避難などできるはずもなく、国民の犠牲は織り込み済みのだろう」と述べました。

編集委員 木下隆成

が登壇。冒頭、「我が国への武力攻撃が無くとも、内閣が参戦を判断をできるところまできている」とし、「生活レベルで国民を守る自治体に対し、何が起るのか秘密にされるなかで避難などできるはずもなく、国民の犠牲は織り込み済みのだろう」と述べました。

編集委員 木下隆成